



「松井本館」

母・松井 節子さん 娘・松井 もも加さん

おもてなしの心をこめて

【おこしやす】

母「お客さまの非日常をお支えするのが旅館の務め。ゆつくりとくつろいでいただくために常に目を配っておかなあきません」

子「何に喜んでもらえるかは、お客さまによつてさまざまですね。その違いを感じとるのは難しいけど、面白みでもあります」

母「おこしやす」と最初のご挨拶をするとき
遠い所からよう、お越しくございましたと
感謝の心を伝えるようにお迎えせなあかんえ」

子「お帰りになる際は、またおこしやす」と
気持ちをごめて言えるように心がけています」

母「その心こそ、おもてなしの基本。
一人ひとりのお気持ちに添えるように
今日も頑張っている」

「いらつていませ」を京都では、おこしやすや「おいでやす」と表現する。どちらの意味も同じだが、おこしやすの方がより丁寧なリアクションと感謝の意を感じる京ことばである。



「ON YOUR SIDE ～一緒にうれしい～」京都中央信用金庫は地域の歴史や文化をささえる活動を応援します。

 京都中央信用金庫

京都市下京区四条通烏丸西入ル TEL.075-223-2525 FAX.0120-201-580 (フリーダイヤル) www.chushin.co.jp

